

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



▲写真は昨年の様子（主催者提供）

特集

ポップカルチャーひろしま 2019 開催！

ポップカルチャーによる国際交流の輪 今年も広島で！

ポップカルチャーをテーマにした交流イベント「ポップカルチャーひろしま2019」が4月13日（土）・14日（日）に開催されます。今年メイン会場を広島県民文化センターとサンモールなどに移し、いっそう大きな交流の輪を広げます。

日本のアニメーションやマンガ、ゲーム、音楽などポップカルチャーはアジアの、そして世界の若者の共通文化になっています。こうしたポップカルチャーをテーマに国内外の若者達の交流を目的とするポップカルチャーひろしま2019は、2017年の第1回イベントから数え3回目になります。回を追うごとにこのイベントが広く知られるようになり、参加者も増えてきました。今年会場を新たに広島県民文化センターやサンモールなど紙屋町周辺に移し、さらにパワーアップして開催されます。

メイン会場となる広島県民文化センター多目的ホールでは、中国、台湾、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、ロシア、ベトナムなど10を超える国・地域からコスプレ

イヤーが集結し、交流を楽しみます。また、13日（土）にはスペシャルゲストに人気アニメ『NARUTO - ナルト -』のうずまきナルト役や『イナズマイレブン』円堂守役でおなじみの竹内順子さんが登場し、トークショーなどが予定されています。その他、アニソンカラオケ大会「ひろしまアニソン王」やアクターズスクール広島のステージなど見所が盛りだくさん。サンモール5階会場では、オールジャンル同人誌・同人グッズ即売会『安芸コミ』も開催されます。さらに、開催期間中はおりづるタワーでもコスプレを楽しみながら交流を行なうこともできるほか、イベントのオープニングには本通りでパレードも企画され、まさにポップカルチャーによる盛大な交流イベントになりそうです。

▶ Check!

多彩なゲストイベントに注目!



▲ スペシャルゲスト 「麗華」さん



▲ DJ & ナビゲーター 「kirin」さん

◆ 10以上の国・地域のコスプレイヤーと地元の交流ステージ

4月13日(土) 18:00 ~ / 4月14日(日) 15:00 ~
広島県民文化センターホール

10以上の国・地域からコスプレイヤーが集まりトークやパフォーマンスを繰り広げます。

13日(土)はアリスガーデンパフォーマンス広場でパフォーマンスやパレードも。14日(日)のフィナーレではステージ上で海外ゲスト達と記念撮影会 & DJ タイム!

(スペシャルゲスト・麗華 / DJ & ナビゲーター・kirin)

◆ コスプレ交流イベント & パレード

4月13日(土) 13:00 ~ / 4月14日(日) 11:00 ~
広島県民文化センターホール・おりづるタワー

イベント会場でコスプレが楽しめます! 13日(土)は本通りでコスプレパレードを開催! 詳細は cosquerade.jp で!

◆ オールジャンル同人誌・同人グッズ即売会『安芸コミ』

4月14日(日) 11:00 ~
サンモール 5F 中央エスカレーター周辺

◆ 竹内順子ステージ・トークショー

4月13日(土) 17:00 ~
広島県民文化センターホール

『NARUTO- ナルト -』うずまきナルト、『イナズマイレブン』円堂守、『デジモンアドベンチャー』ゴマモン、『遊戯王』海馬モクバなどを演じる人気声優、竹内順子さんが来場! 声優のお仕事やアフレコ現場、アニメ業界のお話が聞けるトークショーは必見!

◆ カラオケ大会『ひろしまアニソン王』

予選 : 4月13日(土) 14:45 ~
グランプリ決定戦 : 4月14日(日) 12:35 ~
広島県民文化センターホール

◆ ボーカロイド「初音ミク」アニソンステージ

有名ボカロPのRittyさんと広島の音楽グループ「LUV LA ROSSO」そして『初音ミク』をコラボレーション!

★ 総合司会は木村優紀さん!

※ 掲載情報は2019/2/26 現在のものです。適時変更になる可能性があります。主催ウェブサイトなどで最新情報をご確認ください!

【名称】ポップカルチャーひろしま2019【会期】2019年4月13日(土)~4月14日(日)

【会場】広島県民文化センター、サンモール、おりづるタワー【入場料】無料

【主催】ポップカルチャーひろしま2019実行委員会【共催】NPO法人 音楽は平和を運ぶ

【後援】広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島市文化財団、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、NHK広島放送局、広島エフエム放送、FMちゅービー 76.6MHz

【協力】アリスガーデンパフォーマンス広場事業実行委員会、おりづるタワー、国際オタクイベント協会 (IOEA)、コスカレード実行委員会、サンモール、NPO法人 セトラひろしま、総合学園ヒューマンアカデミー広島校、幕末彼氏伝開催委員会、NPO法人 広島アニメーションシティ、広島国際学院大学、広島メディア芸術振興プロジェクト会議【ウェブサイト】<http://www.pophi.jp>

津軽三味線の吉田兄弟とバルセロナ交響楽団 夢の共演!

2つの三味線のための協奏曲

夏の第九

2019 8・10 18:45開演
広島文化学園HGBホール

指揮: 大野和士
管弦楽: バルセロナ交響楽団
三味線: 吉田兄弟
合唱: 東京オペラシンガーズ

音楽は平和を運ぶ
www.music-peace.jp
広島市中区小町 6-30

◆ 平成の、その次まで伝えたい～『この世界の片隅に』を未来の世代に託すために

2月は、『この世界の片隅に』の中で昭和19年にすずさんが呉へお嫁入り日した月です。

原作漫画は2007(平成19)年から本編の連載を開始、連載タイトルは「19年2月」というように物語の中の時間を元号を省いた年月で表記されました。今年2019年、平成の時代が終わろうとしています。昭和の年を平成の年でなぞる形で掲載された物語を、未来の世代に託すために何をすべきか、改めて考える年になるように思います。(文・写真 松浦妙子/HAC理事)

■ HASHIWATASHI プロジェクト 映画でつながる『この世界の片隅に』無料上映会

2019年1月14日(月・祝)、JMSアステールプラザ中ホールにて、『この世界の片隅に』無料上映会が開催されました。この上映会は、HASHIWATASHI プロジェクト(2018年7月豪雨災害で被害を受けた各地の地域の復興をはかるために経済産業省が行う応援プロジェクト)との連携イベントで、広島・岡山・愛媛の3県で開催されました。3県すべての会場で主人公・北條すず役のんさん&真木太郎プロデューサーのトークイベントありというステキなお年玉付き上映会でした。

広島会場のJMSアステールプラザ中ホールは1階428席・身障者席3席、2階席116席の合計547席の中規模ホールです。その1階席の9割以上をうめるお客さまを迎えての上映会となりました。

ホール入口では、等身大すずさん&周作さんがお出迎え!

そのすぐそばには、ファンの中では知らぬ者はいない「水口マネージャー」のファンアート最新作とともに、広島アニメーションだよりも設置して、多くの来場者の方に受け取っていただきました。

トークでは、のんさんはアテレコ時の片渚監督とのエピソードや、豪雨災害後に避難所を訪れた時のことなど、ひとつひとつの言葉を大切に大切にしながら語っているように感じました。その姿は、

2016年に見たカワイイのんちゃんから凛とした美人さんになっていて驚きすら覚えました。いろいろな挑戦と経験を経て、しっかりした女性に成長されています。ファッションもとてもステキでした。

大画面で観る『この世界の片隅に』には、映像や音の響きの鮮烈さ、単なる作り事ではない真摯さ、多くの人と物語に没入し、その場を共有する楽しさを感じることができました。

▶ すずさん&周作さんパネル(上)、水口マネージャーファンアート最新作(下)



■ 物語を平成から次の時代へとつなぐ力

広島市では、八丁座とサロンシネマが交互に引き継ぎ、封切日の2016年11月12日から2018年1月26日まで、441日/63週/1年2ヶ月15日に渡って上映が続けられました。

八丁座・サロンシネマ、そして呉ポポロは、街中にあり、映画ファンを支えてきた映画館です。映画にも登場する福屋八丁堀本店の中にある八丁座、お嫁に行ったすずさんが夫の周作さんとともに歩いた通りにある呉ポポロは、“聖地”とも言えます。

ロングランを続けてきた映画館は、全国にたくさんあります。2019年2月現在、一般公開を続けているのは土浦セントラル

シネマズ(茨城県土浦市)。戦後、前身となる映画館がオープンした、土浦で一番長い歴史をもつ劇場です。こういった映画文化を支えてきた地域の映画館が、物語を平成の次の時代へとつなぐ力となっていることを受け止め、大切にしていきたいものです。

地方では映画館のない町が増えていくなか、『この世界の片隅に』は公共ホールなどでの上映も繰返し開催されています。映画を楽しむ気持ちを日本中に広げていくことの大切さも改めて感じます。

映画は、娯楽として登場人物の行動に泣き笑いするのもよし、作品に嵌め込まれた設定のディテールを見つけ出して楽しむのもまたよし。

描かれた物語から街の歴史が違う側面から見え、思いもしなかった方向からパツと光が当たったように、ああそうだったのか!と目を開かれることがあります。変わりゆくこの時代に、世界の片隅で細々と生きながらも、映画から得られる恵みをしっかり受け止め、地域を豊かにしていくための糧にすることで、未来は開かれていくのかもしれない。

2015年3月、本誌Vol.6にて、クラウドファンディング目標達成の速報をお伝えしてから4年、今年もまた桜の季節がやってきます。花のたよりを待ちながら……。



▲ のんさんと真木太郎プロデューサー

★『この世界の片隅に』(2016年11月公開)

公式サイト <https://konosekai.jp/>

公式Twitter https://twitter.com/konosekai_movie

★『この世界の(さらにはいくつもの)片隅に』(2019年公開予定)

公式サイト <https://ikutsumono-katasumini.jp/>

©2018 こうの史代・双葉社 / 『この世界の片隅に』製作委員会

◆ この世界の片隅に News!!

■ 青山クラブ/旧呉海軍下士官集会所 窓枠活用

『この世界の片隅に』映画シーンなど掲示決まる

映画を契機に、全国から多くの人たちが「すずさんの住むまち」広島・呉に訪れました。それを受けて、呉市では、貴重な建物の活用が検討され始めています。映画にも登場する青山クラブ/旧呉海軍下士官集会所は、呉市立美術館へ向かう美術館通りの入口に佇む趣きのある建物です。老朽化のために取り壊しも予定されていたものが、映画ファンを中心とした署名運動や呉のまちづくりを担う人たちの熱心な活動によって活用を検討する方向に向かいました。

今年は 1889 (明治 22) 年の呉鎮守府開庁から 130 周年。そのプレ事業として、板で塞がれていた窓枠部分に映画『この世界の片隅に』シーン掲示、呉市立美術館と地元作家などがコラボした市民参加型掲示を行うと、2月18日に呉市から報道発表がありました。

街の記憶を残す建物をより良く活用していくことは、住む人が自分たちの街に対して積極的に気付いていく出発点になります。

映画『この世界の片隅に』は、街に対しても、いくつものきっかけを創出しています。



▲『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』メインビジュアル

■ ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会 発行物案内

中島本町を中心とした町域(現・平和記念公園)にお住まいだった人への片淵須直監督の取材に協力されたヒロシマ・フィールドワーク実行委員会では、中島本町の吉川旅館の吉川正俊さん(吉川晃司さんのお父様)、その他、中島本町・材木町・中島新町・大手町の方々の証言集を刊行予定。古い白黒写真をAI技術によってカラー化する「記憶の解凍」プロジェクトを行う渡邊英徳さんによる写真なども刊行したいと考えています。

証言集やカラー化写真によって過去から立ち上がってくる事実を次世代へ伝えることもまた、平成から時代が変わろうとする今を生きる私たちの役割であると思います。

- 広島建築・都市を紹介するサイト arch-hiroshima | 青山クラブ/旧呉海軍下士官集会所
http://arch-hiroshima.info/arch/hiroshima/aoyamaclub.html
- 呉市ホームページ 日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年
http://www.city.kure.lg.jp/soshiki/8/chinjufu130.html

- ★『この世界の片隅に』(2016年11月公開)
公式サイト <https://konosekai.jp/>
公式Twitter https://twitter.com/konosekai_movie
- ★『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』(2019年公開予定)
公式サイト <https://ikutsumono-katasumini.jp/>
© 2018 こうの史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会

★ Pick Up!

広島メディア芸術振興プロジェクトの現場から

HKGキャラクタープロジェクト (広島国際学院大学)

○ キャラクター・デザインを通じて広島に貢献をめざす

広島教育機関や諸団体、クリエイター、行政などの関係者の連携による広島メディア芸術振興プロジェクトの中で活動している団体をピックアップ。今回はHKGキャラクタープロジェクト(以下:HKGキャラプロ)をご紹介します。

HKGキャラプロは、広島国際学院大学の学生による活動団体で、主にキャラクターのデザインや冊子、グッズの制作、LINEスタンプの作成などを通じ、様々なイベントで活躍しています。2011年のサブカルチャーイベント・広島あにこむを発端に様々な広島国際アニメーションフェスティバル応援イベントなど、広島メディア芸術振興プロジェクトに関わるポップカルチャーイベントに参加し続けています。近年では、広島市安芸区をはじめ、地域からいろいろなキャラクターデザインやポスター・チラシ制作の依頼も多くあります。

様々なイベントで自分の作品を多くの方々に見てもらえることでメンバー学生のモチベーション向上につながります。卒業後、プロのイラストレーターとして活躍するメンバーもいます。今後も、キャラクター制作を通じて広島を盛り上げられるようにメンバー達の活動が続きます。



▲HKGキャラクタープロジェクトのメンバー達

広島メディア芸術振興プロジェクトとは?

近年、全国各地でアニメーションやマンガ、映画、CG表現などのメディア芸術を活用した地域活性化策が検討され、関連施設の建設や多様なイベントなどが開催されています。

広島市においても、広島国際アニメーションフェスティバルの開催やまんが図書館、映像文化ライブラリー等により培われてきたメディア芸術の素地を活かし、教育機関や諸団体、クリエイターらの関係者らがメディア芸術の普及や振興、人材育成等、まちの賑わい創出や地域活性化への活用等に向けて取り組んでいます。

Event

ポップカルチャー × 幕末 = 広島の新たな伝説の発掘！

幕末彼氏伝 -Legends in Hiroshima-

幕末に活躍した広島藩の志士達等をキャラクター化。 展示、トークショー、ステージ等で紹介！

浅野長勲、高間省三、辻将曹、綾など魅力的なキャラクターが活躍！

このほか、明治・大正期に活躍した加藤友三郎も広島の偉人キャラとして蘇ります！

新たな恋の予感です！！

大政奉還の立役者は広島藩だった！？

幕末から明治維新への歴史の変動期。薩摩、長州、土佐、肥前の諸藩士達の活躍とそれに対する幕府要人達、会津藩士や新撰組など様々な伝説が語り継がれてきました。そして、今ここに、広島藩の新たな伝説が加わります。

幕末期の広島藩で倒幕にむけて繰り広げられた歴史秘話をイケメンキャラクターと共に紐解きます。かつてここ広島に実在した人物をモデルにキャラクター化。イラスト、マンガ、アフレコ、コスプレなど、ポップカルチャーの力を借りて彼等は蘇りました。

▶ サブカル幕末ステージ (殺陣・ダンス等)

13:30 ~

高間省三や広島藩をテーマとしたミニステージ

出演：劇団小豆組、DDK dance create、I LOVE U@ あいり

▶ 「幕末の広島藩とその志士たち」

作家 穂高健一トークショー

14:00 ~

『二十歳の炎』『広島藩の志士』『芸州広島藩神機隊物語』等で知られる作家・穂高健一さんが、幕末期の広島で活躍した志士たちについて鋭く迫ります！！

▶ キャラクターを作ってみた展

▶ マンガにしてみた展

▶ 錦絵にしてみた展

▶ キャンパスの絵が動く！？ プロジェクションマッピング

その他、高間省三や辻将曹、加藤友三郎などの関連展示も多数！



▲ 幕末彼氏伝 -Legends in Hiroshima- ポスター

日時 2019年3月21日(木・祝)

10:00 ~ 18:00

場所 JMSアステールプラザ1階 市民ギャラリー

入場無料

幕末彼氏伝 イラストレーター

中久保 涼、中久保 渉

幕末彼氏伝のプロジェクトでは、広島の若手イラストレーターの中久保涼さん、中久保渉さんがイラストを担当されました。魅力的なキャラクターの今後の展開も楽しみです。

○ 企画についてのコメント

今回この「幕末彼氏伝」のお話を頂いた時、はじめは広島藩というものも知らず、幕末といえば新選組や坂本龍馬が目立つため、広島と幕末がどういう関係があるのだろうと思っていました。打ち合わせの際に穂高健一先生の「広島藩の志士」を勧められ、大政奉還の裏に隠された広島藩の活躍に、私たちの住んでいる広島にも幕末の大きな歴史があったことに驚きました。

まだまだ勉強不足ではありますが、このような機会を通じて私たちの知らなかった広島のことを知ることができて良かったと思います。ぜひこの「幕末彼氏伝」で広島藩や神機隊を知り、興味を持って頂けると嬉しいです。



◆ Event Information

ひろしま映像ショーケース 2019

広島で映像制作に取り組むグループや学生の皆さんの作品を、フィルムマラソン形式でお届けします。

日時 2019年3月16日(土)、17日(日)

13:00~17:00(予定)

場所 広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)

● 自主制作グループドラマ作品

16日(土) 13:00~17:00(予定)

Quest Movie Factory(QMF) / イチエンポッポフィルム(IPF) / 市民活動で映画製作をする会/わかもの映画祭出品作品(第1部)

● 広島国際アニメーションフェスティバル受賞作品と学生アニメーション

17日(日) 13:00~17:00(予定)

〈第17回広島国際アニメーションフェスティバル受賞作品〉

- 『キャサリン』(観客賞・優秀賞 監督/ブリット ラース 2016)
- 『ジ オウガー』(木下蓮三賞 監督/ロレン プライバン 2017)
- 『シロッコ』(デビュー賞 監督/ロマン ガルシア、ケヴィン タルピニアン、トマス ロベス-マシ、アヴリル ユブ、ロラン マデック 2016)
- 『ボンド』(ヒロシマ賞 監督/ユディト ヴンデル 2016)
- 『ザ ブリスフル アクシデンタル デス』(グランプリ 監督/セルジウ ネグリチ 2017)



▲『きまもり』
Quest Movie Factory(QMF)



▲『ザ ブリスフル アクシデンタル デス』
The Blissful Accidental Death
セルジウ ネグリチ Sergiu Negulici



▲『ボンド』
Bond
ユディト ヴンデル Judit Wunder
©Moholy-Nagy University of Art and Design Budapest



▲『キャサリン』
Catherine
ブリット ラース Britt Raes

〈学生アニメーション作品〉(出品校ほか)

広島市立庚午中学校 美術部 / 広島市立二葉中学校 美術部 / 広島市立祇園中学校 美術部 / 広島市立城南中学校 美術部 / 広島市立温品中学校 芸術部 / 広島市立大塚中学校 美術部 / 広島市立大州中学校 美術部 / 広島市立基町高等学校 創造表現コース / 尾道市立大学芸術文化学部 美術学科 / 比治山大学短期大学部 美術科 / 広島市立大学 芸術学部 デザイン工芸学科 / わかもの映画祭出品作品(第2部)

【主催】広島市、(公財)広島市文化財団(広島市映像文化ライブラリー、広島市青少年センター)

【協力】広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会 【後援】総務省中国総合通信局

広島新銘菓

生もみじ




にしき堂

比治山大学
短期大学部
美術科

50

since 1967

美術科は本年、設立から50周年を迎えました。これまでに3700名の卒業生を送り出した美術科は、これからも広島市と協力して新しい才能を発掘、育成していきます。

客員教授この史代原作
「この世界の片隅に」

絶賛、上映拡大中
広島人必見!

マンガ・キャラクターコース

映像・アニメーションコース

メディア芸術はここから



©Uehara

発行日: 2019年3月4日 発行部数: 5000部 発行: 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集: NPO法人広島アニメーションシティ(HAC) デザイン: 広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・内藤 泰雅

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局

〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳研究室内

http://hac.or.jp Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723